六月二十一日夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部一ケ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

『幼學綱要』について

蘆谷重松

（一）

『幼學綱要』二十卷は、明治天皇の勅を奉じて、侍講樞密顧問官從二位男爵元田永孚先生の編せられたるものである。維新以後、社會の急激なる變革と、西歐文明の輸入とによる、國民思想の混亂は、延いて風俗の頽廢、道德の弛緩を來し、國家の前途、憂ふべきものあるを思はしめた。何よりも大きな此の時期の特徴は智力を先にして仁義を後にし、才藝を先にして道德を後にし、本を棄て、末に超えたことであつて、このまゝであつては甲乙相軋り、上下交々爭ひ、つひに天下の大亂ともなるであらうことを、天皇にはいたく憂慮したまふたのである。否、その兆はすでに實際にあらはれて居た、全國各地に於ける頻々たる暴動、暗殺、官場や實業界に於ける幾多の不正事件などは如何に天皇の宸襟を惱まし奉つたか今日想像するだも畏れ多き極みである。しかるに國民教育の實際を見ると、德育の以て據るべき基礎未だ確立せず、或は全然立國の精神を異にする歐米の修身教科書を直譯してそのまゝわが國の幼兒たちに讀ましめてゐるものもあれば、我は昔ながらの儒教を以て、そのまゝ青年子弟に教へ、往々にして其の反對嘲笑を買ふものもあるといふ風で、（江木千之氏談）實に支離滅裂の觀があつた。天皇には明治九年東北御巡幸の際にも、侍臣をして教育の狀況を視察せしめ、一層かゝる缺陷に大御心を勞したまひ明治十二年、つひに元田侍講に命じて少年子弟の爲に修身道德の大本を訓ふべき良書を撰進せしめられた。元田侍講は、深く聖慮に感激し、文學諸員と議し、其の事に當ること一年有半にして、つひにこれを完成したのである。

人生　山田文平

蒼穹に棲みて

☆○○○

勿來から磯原迄
觀光道路を設定
附近の風景と史跡を
全國的に紹介

本郡勿來町と茨城縣磯原町間三里の道程は頗る風景に富んで居るので關係地元の勿來、磯原、平潟、大津の四町は連合して此處にハイキングコースを設定すべく昨廿日前記四町代表及び鐵道側をも加へ磯原町天妃山で協議した結果磯原町に本部を置く『常磐觀光協會』を設定し第一手始として同協會は『四季の行樂、常磐の海と史跡』と題するリレフット二萬枚と案内ビラ五萬枚を作つて大々的に宣傳する事になつた

製品輸送は
今月末から
操業を開始した
錦村の昭和人絹

錦村に昨年十二月二十日十三萬坪の用地を擁して建坪一萬八千坪の大工場を建設した昭和人絹工場は去る十八日から操業を開始したが目下勿來驛から引込線を敷設中で大体今明日中に終了月末から製品の輸送を開始すると

涙を誘ふ
親と子の心
明日父兄會の席上で
教育朗吟のレコード

平第一小學校父兄懇話會は既報の如く明廿二日午前八時から催されるが第一校では父兄に接する唯一の好機會を捉へ千葉縣某小學校長尼子譽一氏吹込の教育朗吟歌報恩の歌外數枚のレコードを聽かせる由であるが右のレコードは子を思ふ親の心と親を慕ふ子の心が歌はれてあり涙なくしては聞けぬものであると尚從來の父兄會には比較的低學年兒童の父兄のみ多かつたが最も教育上に影響が熾烈である尋常四年前後の父兄の出席を多數であらしめたいと學校側では希望してゐる

書道會が
けふ役員會

平町聯合書道會では今廿一日午後六時より平町役場議事堂にて役員會を開催左記諸案を協議すると
△書道講習會講師に關する件　△書道展並に講習會豫算編成の件　△資金募集の件

佐藤代議士の感激
政民兩派から懇篤な祝辭
昨日送別會の盛況

既報世界旅行に出發する佐藤庄太郎代議士の送別會は昨日午後一時から平館に開かれ先づ青沼町長の開會の辭に次ぎ
木村清治、井上茂作、田子健吉、吉田五平、野崎滿藏、鈴木辰三郎
の諸氏が夫々懇篤な祝辭を述べ感激の佐藤代議士は萬雷の拍手に迎へられて『必らず日本人たるの眞面目を發輝して諸彦の御期待に添ふ』と答辭を述べ安島重三郎氏の發聲で同代議士の萬歳を三唱祝宴に移り平藝妓の手踊「鶴亀」其他の餘興賑々しく演ぜられて非常な盛況を呈した

平商籠球快勝
磐中對平商の一年生籠球試合は昨廿日磐中校庭で永島、門馬兩氏審判の下に行はれたが十六對八で平商快勢した

サバ節の製造で
小名濱が大繁忙
連日一萬貫前後の漁獲

小名濱は昨今鯖の大漁で連日一萬貫前後の漁獲があり一萬漁籠(三十貫匁)三圓に取引され鯖節の製造に繁忙を極めて居る

繭市況 (二十日)
四倉市場　白繭二九四八貫　最高四圓十錢　最低三圓十錢　馴三圓八十錢
黄繭二四四貫　最高三圓十八錢　最低二圓八十錢　馴

最初の車體檢査
けふ七十臺を執行

既報此程竣功した平町八幡小路地内の自動車々体檢査所最初の車体檢査は本廿一日午前八時より縣保安課の檢査官高橋技手、矢吹巡査部長出張執行したが檢車數は四倉、富岡、植田三署管内よりの七十臺に及んだ

平町人事

□出生
△三丁目五七　齋藤三郎氏長男修一

◇婚姻
△五丁目一八　酒井忠二氏(二八)草野村字六十枚富岡テツ子(二三)

回死亡
△鎌田町當時赤井村字不動堂小野武明(二ッ)

上田醫院
平町南町
電話一九二番

市原醫院
平町・田町
電話一一四番

店主が店員を連れて行かれる
正シイ食堂
正シイ喫茶
正シイ酒場
平・田町
レストラン サロン
電二五三番

食洋
喫茶
宴會
毎度有難うございます
野菜サラダ
ビフテキ
◉女給數名募集
コンパル
驛前新道通り
TEL・666

新体檢査設備
お宅の體温計は?
10日
体温計の檢査日です
◎確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい
度量衡計量器指定販賣入
西村屋藥局
平・二　電三番

東京短期(本日前場)

	寄付	大引	高値	安値
東	一三四一	一三四八	一三四九	一三四〇
大新	八三七	八三七	八五一	八三四
鐘紡	三三一〇	三三一〇	三三一三	三三〇三
新鐘	一一八〇	一一八三	一一八六	一一八〇
日紡清	—	一一〇五	一一〇五	—
帝人	七〇七	七〇九	七一〇	七〇九
東洋	六四八	六四八	六四八	六四六
日曹	三九六	六三〇	六三四	六二九
北炭	—	五九六	五九七	五九五
日鑛	—	三九六	四〇一	三九五
三菱	一〇八〇	一〇八三	一〇八四	一〇八〇
日石	三九六	三九八	三九八	三九六
日產	七六八	七六一	七六八	七五七
鋼管	九一〇	九一四	九一九	九一〇
人肥	四二八	四二六	四二九	四二六
東電	五四八	四五七	四五八	四五七
日電	四三	—	四三	—
新舟	—	—	一五〇	—
南滿	—	六一八	六一八	—
第二南滿	二六〇	二五九	二五九	—
日糖	五六九	五七〇	五七〇	五六九
明糖	一〇五	一〇六五	一〇六五	—
子王	—	一〇六五	一〇四六	一〇四五
ビール	—	三一九	三一八	—
淺野	二〇七	二〇七	二〇八	二〇七

期米

	東京 六月期	東京 八月期	大阪 八月期
一節	二九八〇	二九七〇	二九八五
二節	〃八一	〃七一	〃八六
三節	〃八一	〃七五	〃八九
四節	〃八四	〃七〇	〃八九
五節	〃八五	〃七九	〃八九
六節	〃八四	〃七四	〃八九
七節	〃八三	〃八九	〃八八
八節	〃八二	〃八二	〃八七
九節		〃八二	〃八六
十節		〃八七	〃八六

田町・丸井株式店調(電四六番)

飛び込んだ女が「助けて！」の悲鳴

血の氣の多い運轉手連追ひ駈ける男を袋叩き

▽……毆られ損の朝鮮人

昨廿一日夜十一時頃平町二丁目尼子自動車店車庫内で年若い白衣の看護婦が一名の荒くれ男に追はれて飛び込み「助けて！」と悲鳴を擧げた騒ぎに同店の氣早い運轉手や助手達は其男をテッキリ暴漢と思ひ込み矢庭に引捕へて散々袋叩きにして居る間に女は何れへか姿を消して終つたが此の毆られ男は朝鮮全羅南道齋洲島生れ當時東京市牛込區榎木町居住賣藥行商梁斗圭（二七）で目下紺屋町清水屋旅館に滯在平町を行商し廻つて居る朝鮮人だが昨夜は南町の銘酒屋を素見しての歸途看護婦二名を連れた男と出會ひ喧嘩となり相手の男はいきなり梁さんの顔面を毆り付けて逃げ去つたので口惜しさの餘り其場に逃げ遲れた一人の看護婦を追い駈けた處右の仕末に反對ものであつて局毆られ損の梁さんは全治二週間の傷を受けたとけふ平署司法室に出頭危しげな日本語で訴へ出た

警察署に出掛て

その儘歸らぬ娘

貯金を引出した事が判り誘拐されたかと心配

平町白銀町生花商八田與市の姪新潟縣中蒲原郡大字川東字柄澤柳次郎長女高内ハル（一八）は去る十八日午前十時頃接客業者の健康診斷を受けに平署に行くと稱し出掛けた儘歸宅しないが貯金二十六圓四十錢を引出した事が判り何者かに誘拐されたらしいと本日平署に捜査方を願ひ出た

小名濱も道路鋪裝

小名濱町は魚市場に隣接する水産試驗場敷地側道路の延長五十一間、巾五間を工費三千圓で鋪裝する事となり十八日から測量を開始した

勞働者の變死体

身元が不明

好間、箕輪兩村境の村道に本廿一日午前七時頃四十才位な勞働者風の男の變死体を通行人が發見平署に急報したので同署から菊地巡査部長が出張檢視したが身元判明せず村役場に引渡した

映畫界の鬼才熊岡氏が

世界館に現る

映畫説明界の鬼才熊岡天堂氏はレコード吹込み餘暇を利用して近く當町世界館支配人石井孝君と舊知の情を新らたにせんと某名畫を提げて來平、近日世界館で特別出演短期公開すると、尚世界館では熊岡氏の解説によつて公開する名畫について縣賞募集中である

優良馬の選拔　來月三日より三日間開かれる川前村地方馬耀市場の優良駒選拔には縣の古村技師が審査すると

明日のラヂオ

廿二日

天氣豫報　今晩も明日も北東の風天氣次第に惡くなる

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「平泉の史蹟」深見秋太郎
▼後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
▼後七、三〇 講演「最近に於ける本邦化學工業の發達」西田博太郎
▼後八、〇〇 常磐津恨葛露 濡衣常磐津兼太夫他
▼後八、二〇 熱田尚武祭川まつり實況
▼後八、五〇 尺八眞虚靈大久保交堂他
▼後九、〇〇 ラヂオドラマ「母の席」創作座
▼後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 基礎獨語講座
（三十三）武内大造
▼前七、〇一 朝の祭「妙法蓮華經」（九）山口光圓
▼前九、〇〇 衛生メモ
▼前九、一〇 料理献立「そらまめとうふ」豊島はるぢ
▼前一〇、三〇 婦人の時間「滿洲移民と婦人」伊東眞一
▼後〇、〇五 講談「報恩試合」田邊南龍
▼後二、〇〇 家庭講座「社會と速記」中村政夫
▼後二、五〇 野球試合實況 比律賓對法政 神宮球場中繼
▼後五、〇〇 職業紹介事項
▼後六、〇〇 子供の時間 朗讀「手紙」大阪童話教育研究會
▼後六、二五 農家の時間「農家の經營」農林技師渡邊俣一
▼後七、三〇 浪花節「雪の夜話」天光軒滿月
▼後八、〇〇 映畫劇「夢うつゝ」田中絹代 水島亮 太郎外大勢
▼後八、三〇 ヴァイオリン獨奏 エフレムヂンバリスト 日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット
▼後九、〇〇 時事解説 田川大吉郎
▼後六、〇〇 子供の時間 朗讀「手紙」大阪童話教育研究會
▼後六、二五 農家の時間「農家の經營」農林技師渡邊俣一
▼後七、三〇 浪花節「雪の夜話」天光軒滿月
▼後八、〇〇 映畫劇「夢うつゝ」田中絹代 水島亮 太郎外大勢
▼後八、三〇 ヴァイオリン獨奏 エフレムヂンバリスト 日本放送交響樂團指揮ニコライシフエルブラット
▼後九、〇〇 時事解説 田川大吉郎

湯屋の主人劇藥自殺

神經衰弱が全治せず悲觀の餘り

小名濱町字下町一一湯屋營業者鈴木良雄（四一）は去る十八日午後九時頃自宅で工業用鹽酸を多量に嚥下し苦悶中を家人が發見草野醫院に收容應急手當を加へたが昨廿日夜絶命した原因は神經衰弱がなか〳〵全治せぬのを悲觀した結果であると

一本の煙草から

毆つたり告訴したり反って大目玉

内郷村大字御厩居住磐城炭礦平發電所員大谷正（二二）は去る十六日夜南町通りを素見して居た際顔見知りの大町横田藤吾（二五）と出遭つて煙草を無心したが斷られたので憤慨同人を毆打して歸宅した處横田は此の旨を會社の上役に告げたので首の飛ぶのをおそれて被害者横田を相手取り平署に名譽毀損と訴へ出た

教育問題講習　小名濱小學校は本廿一日午前九時から同校講堂に教育問題講習會を開いたが講師は福島女子師範附屬小學校の沖田主事である

腹減る度びに盜む

磐崎村を徘徊するルンペン

昨廿日午後一時頃磐崎村地内を徘徊するルンペン風の男を駐在所員が怪んで取調ると同人は山形縣東村山郡藤增村字藤增生れ住所不定齋藤市松（三六）で空腹の餘り同村字藤原農磯上忠太郎方より一斗五合入り飯櫃と現金三錢入りの墓口を窃取した外湯本、江名、内郷等で空腹になつた際飯櫃專門に五件窃盜を働いた事を自白したので餘罪取調中

平商三年演習　平商業學校では今廿一日三年生の野外演習を駒場教官指揮の下に平窪方面で行つた

平裁判たより

石城郡錦村昭和人絹工事場より鉛板類を窃取した人夫小野寺孫太郎外數名より情を知つて十數回に亘つて價格二百餘圓の賍品を買ひ取り賍物故賣罪に問はれ平區で懲役一年及罰金四十圓に處され不服で控訴した朝鮮慶尚北道生れ當時石城郡勿來町古物商金拓基（二七）は昨廿日福島地方裁判所落合檢事から原審通りの求刑あり言渡しは來る廿七日の筈

平職業紹介所募集

回人を求める方

△農夫　三十以下　年給百圓
△粕ラ夫　四十才　日給五十錢
△外交員　五十才　高卒
△女中　二十才　尋卒　月七—八圓

回職を求める方

△事務員　三十才　帝大卒
△火夫　三十八才　尋三修
△運搬夫　三十六才　尋卒
△人夫監督　四十五才　高卒

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める
川崎巡回文庫　電六三〇番
（申込次第規則書進呈）

明治太平記

(繁無聞録)(上映及上演)

(作) 寺島柾史
(畫) 野口彌

第百五十五回

思慕と望郷(八)

バークスとおふくが、異人馬車に同乘して、夜の街を散歩して居る頃。

例の都會嫌惡の、街の巡禮ふたり、茂平次とおとわが築地ホテル館の表玄關さきにひょつこり現れた。

『おや、お歸んなさいまし……』

出て迎へたのは、ホテル館の支配人何某、先頭の茂平次を默殺して、背後のおとわに追從笑ひを見せた。

茂平次は、それを引取つて

『バークス閣下のお室へ案内して下され』

『はア』

と、云つたが、支配人はちよいと澁つた。

らしやめんおとわが、バークスの所へ、戻つて來たのはいゝが、その後釜にすわつて、バークスの寵愛を一身にあつめてをる、同じらしやめんのおふくと、やがては、三つ巴の痴話喧嘩が始まり、面白からぬ結果となるに違ひない。と思つたのだ。

『さア、案内しなさい』

『はい。ですけど、バークスさんが唯今御不在でございまして……』

『結構だよ、御不在でも』

『え』

『いやさ、バークスさんのお室は、つまり此のおとわさんのお室さ、眞直室へ通つて一向に差支がなからうさ』

『それが、其の……』

『いゝよ。お前さんに迷惑はかけぬから、鍵を渡しなさい』

『は、はい』

支配人は、澁々先に立つて案内した。

『旦那』

『何かね』

『何時ぞや、あんたが、おとわさんを連出したものですから、あとでお役所の方からきびしい詮議、それにバークスさんが大變な御立腹で、いやはやひどい目に會ひましたよ』

『さうか、それはどうもしかし、我々は決して逃げもかくれもせなんだよ。公然と東京市中に宿をとつて京濱を歩き廻つて居つた』

『左様で御座いましたか』

支配人はバークスの室のドアを開けてふたりを招じた室は、元の儘豪華な調度品裝飾品をもつて滿たされてあつた。いま〳〵しくも眞新しい記憶の數々がそこにあつた。

が、其の外に、茂平次にもおとわの眼にも、意外に思つたのが、室の片隅にある衣桁に廣げられた、若い女の派手な友禪振袖、それから、寢臺のカーテンの隙間から覗かして居る牡丹の花の様な、女の寢間着……

――おや、誰か、ほかに女が――。

茂平次は、まづ、それを訊ねなければならなかつた

『バークスさんは、新しいのが出來ましたかい』

『は、はい……いゝえ、なアに……』

支配人は、いさゝか狼狽して不得要領な返事をした

『やはり、おとわさんの様なきれいな女かね』

『はア……其の……』

『バークスさん、後釜ができたので、近頃御機嫌がいゝだろ』

『は、はい』

『つまり、兩手に花のおたのしみが出來るわけだね』

それどころか、今に、女同士がかみ合ふ様になるだらうと、支配人は、心のうちに茂平次の官葉を反駁した。

内科
外科
一般

金成醫院
金成忠義
平鎌田町(電三五八)

外科
花柳病科
専門

本村外科醫院
自炊入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋際

何となく
頭痛で不快の方
二三回で不思議に快癒する
フタバの磁氣
平一中仲町(電一九三番)

夏は來り
本年も清新なキクチの……
◇白靴を　二五〇ヨリ　六圓マデ
野に山に新製耐久力の……
◇ハイキング靴を　七五〇ヨリ
婦人洋裝にスマートな……
◇ハイヒール靴を　七五〇ヨリ
平四驛通り
菊地クツカバン店
電六五九

毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷タイ美味しい飲物
アイスクリーム　アヅキアイス
ミルクセーキ　ソーダ水
ミツ豆　クリームソーダ
其他氷水各種
相初めました是非夏の夕の御散歩
歸へりに御立寄り下さい
平一丁目
出前迅速
藤寅
電話一四一番

謹啓誓雲院儀葬送の際は御多忙中遠路御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御芳志の段奉深謝候早速拜趨御禮可申述の處乍略儀以紙上御厚禮申述度如斯御座候　敬具

昭和十年六月二十一日

諸橋國松